

川崎市川崎区のマンションや商業施設が集まる一角に、白色の塔が三つ並んだような、ユニークなデザインのひときわ目を引く建物がある。聞けば、厄よけで知られる川崎大師平間寺を構成する寺院の一つで、「自動車交通安全祈禱殿」という。1970年に初代の祈禱殿（現・葉師殿）が完成。現在の祈禱殿は2006年に移転・新設された2代目だ。デザインは初代とほとんど変わらな

い。「祈禱殿の設計の依頼があり、何か変わった建

オフシヨット

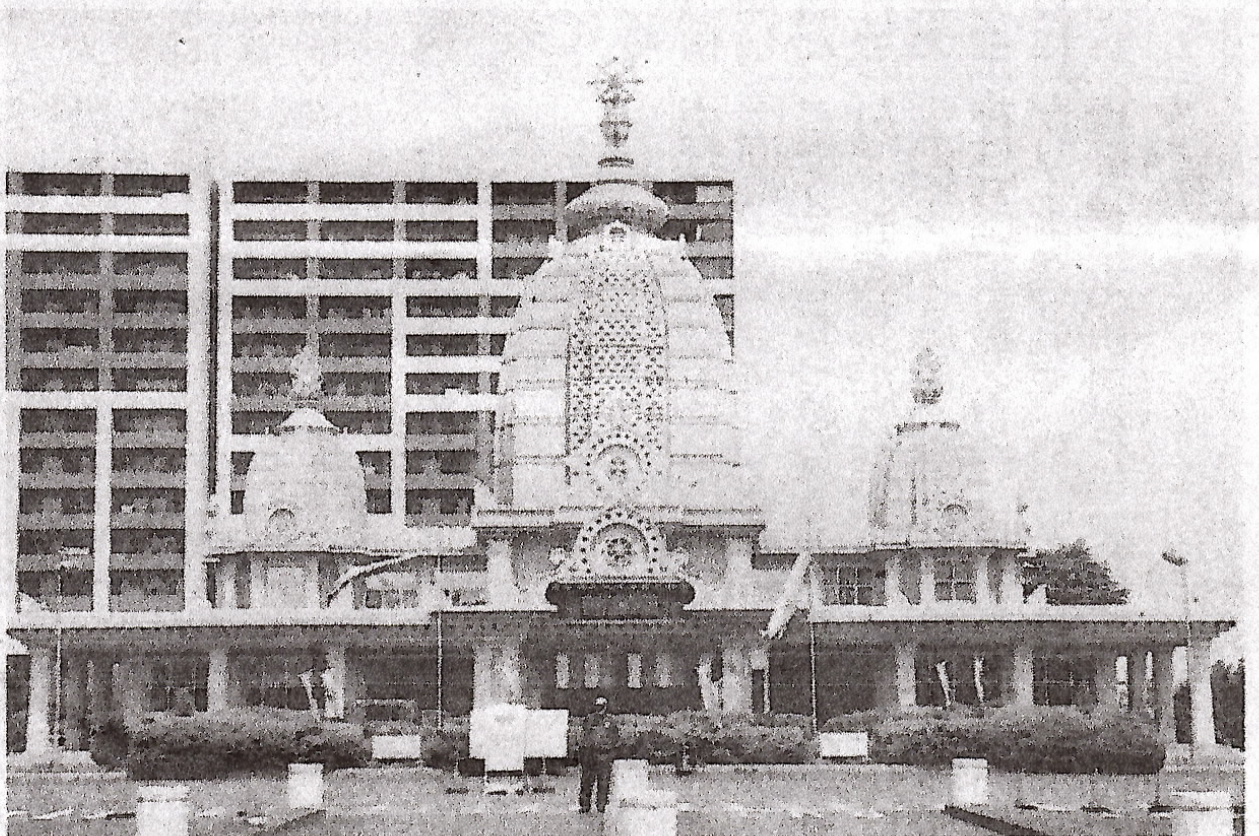


目を引く実践する場

築をとのことであった。私は、日本各地およびインドで仏舍利塔（釈迦の遺骨を納める施設）の設計のためインド建築を研究していたので、（中略）主としてヒンドウ（ヒンズー）教式の建築で砲弾状の高塔を三本建てた。日本では異色な建築であろう」。設計を担当した、浅草寺本堂など多くの社寺の建築で知られる建築家の大岡實氏は後に、デザインの訳をこう明かしている。

祈禱殿には4月に県警の「高齢運転者講習センター」が開設され、高齢者らが免許更新に必要な講習を受け、駐車場では実車の指導が行われている。「願うための場所」

としてだけでなく、「実とユニークな建物には、実践するための場所」にも今日も多くの人が訪れている。【田中綾乃】



川崎大師平間寺の自動車交通安全祈禱殿—川崎市川崎区で